

## 【第13章 章末問題解答】

### 1. 監査の必要性について説明しなさい。

財務諸表は経営者自身が作成します。そのため、財務諸表利用者には経営者が財務諸表をよく見せているのではないかという疑問が生じます。また、財務諸表利用者は、自身で財務諸表の適正性を確かめようにも、適正性を確かめるために必要な専門的能力を持ち合わせていないし、財務諸表の根拠データを閲覧できる立場でもありません。これでは財務諸表を信用して利用することができません。このような状況を解消するために、第三者による監査が必要になります。

### 2. 二重責任の原則について説明しなさい。

二重責任の原則は、経営者の財務諸表作成と公認会計士の意見表明責任の分担のことです。なお、二重責任の原則は、両者の非協力的な関係を示すものではなく、それぞれの責任を遂行することによって、適正な財務諸表を作成し、ディスクロージャー制度の目的を達成しようとするものです。

### 3. 公認会計士に求められる独立性について説明しなさい。

監査を実施する公認会計士には、精神的独立性と外観的独立性の双方が求められます。

精神的独立性とは、「職業的専門家としての判断を危うくする影響を受けることなく、結論を表明できる精神状態を保ち、誠実に行動し、公正性と職業的懐疑心を堅持できること」をいいます。これは、正しい意見を表明するために必須のもので、監査の根底を支える重要なものです。

外観的独立性とは、「事情に精通し、合理的な判断を行うことができる第三者が、全ての具体的な事実と状況を勘案し、会計事務所等又は監査業務チームの構成員の精神的独立性が堅持されていないと判断する状況にはないこと」をいいます。外観的独立性は、監査が社会的に信用されるために必須のもので、また、精神的独立性を阻害する要因を事前に排除するという点においても重要なものです。さらに、精神的独立性と異なり、具体的な規制が可能であるという特徴があります。

### 4. 監査を要請している法律を2つ答えなさい。

金融商品取引法 会社法

上記の二つ以外にも様々な法律で監査を要請しています。例えば以下のようなものがあります。

- ・ 国立大学法人の監査（国立大学法人法）
- ・ 医療法人の監査（医療法）
- ・ 社会福祉法人の監査（社会福祉法）